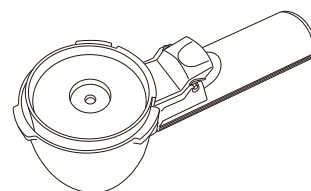
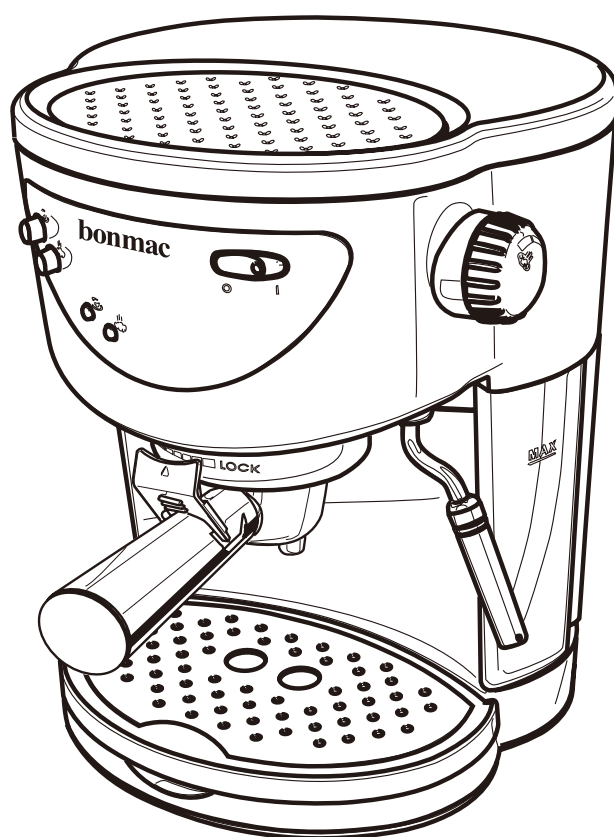


bonmac BME-100 DARMAR

このたびはbonmac BME-100DARMARをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。



ECO-POD専用ホルダー付き



ECO-PODとは？

ECO-PODとは、UCCが独自に開発したコーヒー抽出システムです。

≡ BME-100 DARMAR の特長 ≡

- コーヒー粉、カフェポッドでエスプレッソ抽出。
- 豊かなアロマを味わえる15気圧(抽出時9気圧)のポンプ式です。
- スチームノズルを使用してミルクフォームが簡単にできるので本格的なカフェ・ラテやカプチーノが楽しめます。
- ECO-POD専用ホルダーにECO-PODをセットする事でレギュラーコーヒーを楽しむ事が出来ます。

目次

安全上の注意事項	2
仕 様	4
各部の名称 (フィルター・フィルターホルダー)	4
各部の名称とはたらき (本体)	5
はじめてご使用になる前に	6
簡 単 操 作 の 手 順	8
エスプレッソの抽出 (コーヒー粉を使う)	9
エスプレッソ抽出の基本	11
エスプレッソの抽出 (カフェ・ポッドを使う)	12
ECO-PODの抽出 (ECO-PODを使う)	14
カプチーノの作り方	16
お 手 入 れ 方 法	19
美味しいエスプレッソ・カプチーノを作るために	20
故障かな?と思ったら	21
アフターサービス	裏表紙
保 証 書	裏表紙

安全上の注意事項

- 1 ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意事項」を最後までお読みください。
- 2 ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- 3 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 4 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示がついています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
 : 禁止  : 接触禁止  : 水濡れ禁止  : 分解禁止  : ぬれ手禁止	 : 指示を守る  : 電源プラグを抜く

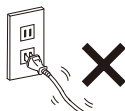
⚠ 警告

電源・コンセントについて

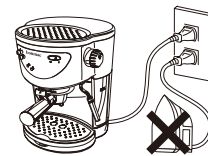
-  電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A125V」と記載されている壁面のコンセントに直接差し込む他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。



-  取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
 取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。
 感電や発熱の恐れがあります。



-  コンセントは本製品だけ（単独）で使用するコンセントの差込み口が2つある場合は、片方の差込み口を使用せず、空けたままにしてください。



-  延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
 コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

電源プラグ・電源コードについて

-  電源プラグ・電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
 使用中に、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。



-  電源プラグ・電源コードを破損するようなことはしない
 電源プラグ・電源コードは大切に扱ってください。無理に曲げたり、物をのせたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因となります。



-  動作中に電源プラグを抜き差ししない
 感電・火災の原因になります。
 変形・破損している電源プラグ・電源コードは絶対に使わない
 感電やショート、発火する恐れがあります。
 必ず、お求めの販売店に、交換を依頼してください。

-  ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
 感電する恐れがあります。



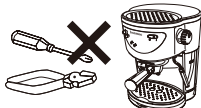
-  電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
 不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

-  電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
 ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

⚠ 警告

使用中・使用後について

⊘ 自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
故障や発火の恐れがあります。



⊘ 子供だけでは使わせない
幼児の手の届く場所で使わない
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



! シャワープレートやスチーム管（ノズル）から出てくるお湯やスチーム（蒸気）に注意する



! 高温のためヤケドの原因になります。
電源を入れる前に、必ずスチームノブが閉じていることを確認する
ヤケドの原因になります。

使用中について

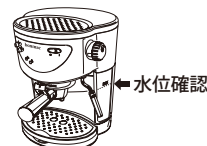
! 異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店までご連絡ください。

⊘ エスプレッソ抽出中は、絶対にフィルターホルダーを外さない
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



! 使用中は給水タンク内の水量をチェックする
異常発熱し、発火する恐れがあります。

! 使用中、給水タンクに水を補充する場合は、一旦ON/OFFスイッチをOFFにし、必ずスチームノブが閉じていることを確認する
ヤケドの原因になります。



お手入れについて

! 本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う
ヤケド・感電・ケガの原因になります。使用後のフィルター、フィルターホルダー、スチーム管、シャワープレートは高温です。

⚠ 注意

電源について

! ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

電源プラグ・電源コードについて

! 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



⊘ 使用中は、電源コードを本体に触れさせない
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

設置場所について

⊘ 本体は不安定な場所や熱に弱い場所に置かない
本体や置いた物・場所が変形・変質したり火災の原因になります。

⊘ 屋外や水・湿気の多い場所（部屋）で使わない
感電やショートの恐れがあります。

使用中・使用後について

! 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・火災の原因になります。

⌚ 長期間使用しない場合は、スチームノブを閉じて必ず電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災の恐れがあります。

⊘ 給水タンクの最大水量（MAX 表示）を超えて水を入れないでください
故障の原因になります。

⊘ 他製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない
故障や事故の原因になります。

⊘ 本体や操作部に水や牛乳・ジュースをこぼさない
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電やショートの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店までご連絡ください。

⊘ 屋外や他の用途で使用しない
本製品は、エスプレッソ（コーヒー）の抽出、給湯、蒸気による泡立て・加熱など、家事専用（家庭用電気製品）です。

⚠ 注意

お手入れについて



使用後は必ずお手入れする (P19 参照)
故障の原因になります。



洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する
研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー
洗剤などは使用しないでください。本体の表面が
変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因に
なります。



ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤーウー
ル、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用
しない
本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の
割れの原因になります。



絶対に、本体や電源コード・プラグを水に浸したり、
水洗いをしない。
故障の原因になります。



牛乳の加熱・泡立てなどで (スチーム) ノズルを
使用した後は、必ずお手入れする
衛生のため、必ずお手入れを行ってください。
ミルクが内部に残ったり、固まったりするのを
防ぎます。

仕 様

製 品 名		エスプレッソメーカー	給水タンク容量	最大水量：0.8L	
型 式 番 号		BME-100 DARMAR	材質	本 体	ABS 樹脂
定格	電圧／周波数	交流 100V／ 50/60Hz		給水タンク	AS 樹脂
	消 費 電 力	1,150W		ボイラー	アルミ
外 形 寸 法		幅 240 ×奥行 250 ×高さ 300mm		MADE IN CHINA	
質 量		約 3.7kg (本体のみ)			
付 属 品		ECO-POD専用フィルターホルダー、タンパー付計量スプーン フィルターホルダー、1人用フィルター、2人用フィルター、カフェ・ポッド専用フィルター			

各部の名称 (フィルター&フィルターホルダー)



1人用フィルター



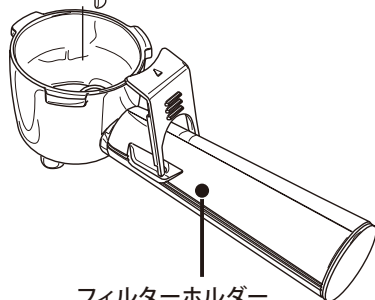
2人用フィルター



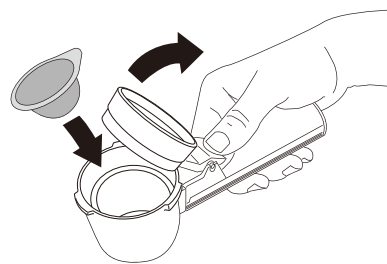
カフェ・ポッド専用
フィルター



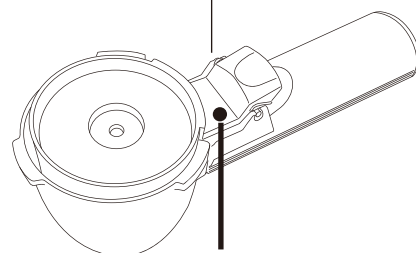
抽出口アダプター



フィルターホルダー



ふたを開けてECO-PODをセットできます。
※コーヒー粉はつめられません。



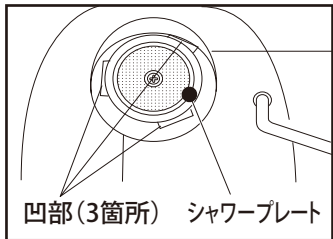
ECO-POD専用ホルダー

各部の名称とはたらき (本体)

カップウォーマー
カップを保温しておくことが可能です。

操作パネル
下段参照

グループヘッド (下から見た図)



カップ受けトレイ

スチームノブ
+方向にまわす(開ける)とスチーム管/ノズルから熱湯または蒸気がでる。

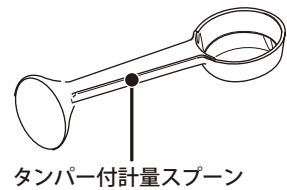
給水チューブ
給水チューブは確実に給水タンクの水の中に沈めてください。

給水タンク
エスプレッソ抽出用の新鮮な水をMAX表示(最大0.8L)まで入れる。

スチームノズル

電源コード

電源プラグ



操作パネル

コーヒー抽出ボタン
シャワーヘッドから、高圧力で熱湯が出ます。

コーヒー適温ランプ
コーヒー抽出のお湯が適温になると点灯します。

ON/OFF スイッチ
電源の入/切を行います。電源が入るとボイラーは加熱を開始します。

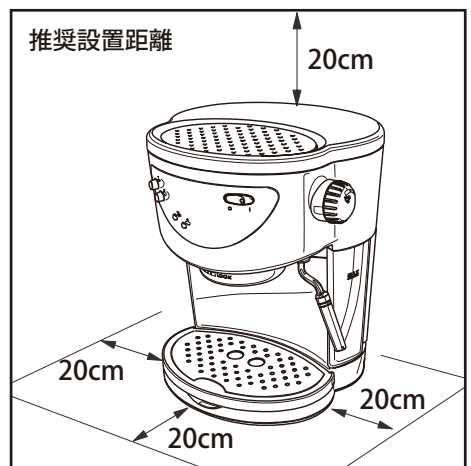
スチーム適温ランプ

スチームが使える温度に達すると点灯します。

スチーム切替ボタン

このボタンを押して、スチーム適温ランプが点灯している時にはスチームノズルから蒸気を出すことができます。

推奨設置距離



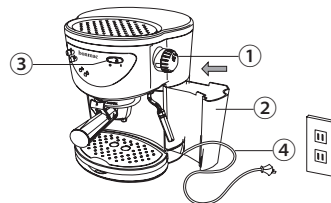
はじめてご使用になる前に（内部洗浄）

初めて本製品をご使用になる際は、事前に、付属品および本体内部（ボイラーやスチーム管、スチームノズル）の洗浄を行ってください。

※付属品の洗浄は、P19「お手入れ方法」を参照してください。

ご使用前に、以下の点をご確認ください

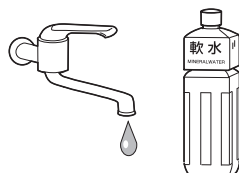
- ①スチームノブを右（一方向：時計回り）に回して閉じます。
- ②本体から給水タンクを取り外します。
- ③ ON/OFF スイッチが OFF になっていることを確認します。
- ④電源プラグはまだコンセントに差込まないでください。



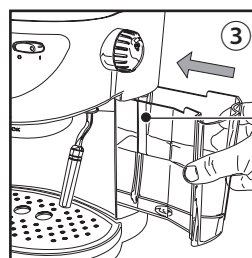
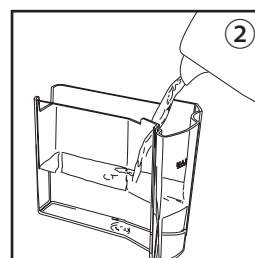
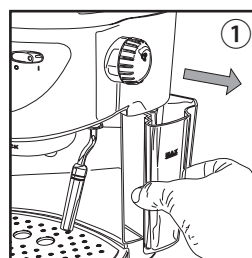
1 給水タンクに水を入れ、本体に戻す

給水タンクの MAX 表示 (0.8L) まで澄んだ水道水を入れ、本体に戻します。

※このとき、給水チューブを給水タンクに確実に沈めてください。



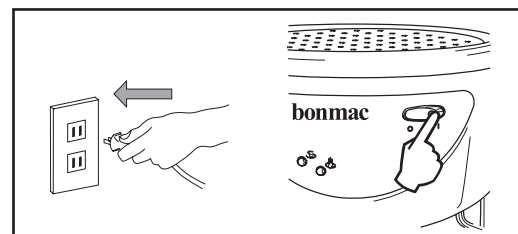
新鮮で澄んだ水道水や、軟水（日本の硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。
※硬水を使用するとカルキ分が詰まり故障の原因となります。



給水チューブ
給水タンクに確実に
沈めてください。

2 電源プラグをコンセントに差込み、ON/OFF スイッチを ON にする

電源プラグをコンセントに直に差込み、ON/OFF スイッチを ON にします。ボイラーの加熱が始まります。



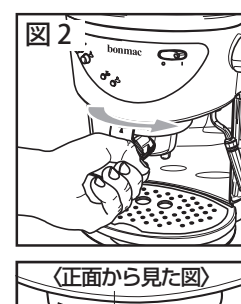
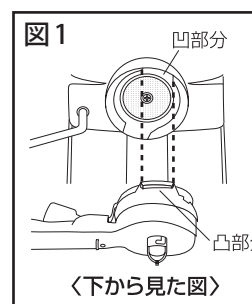
3 空のフィルターをフィルターホルダーにセットし、グループヘッドに取り付ける

2人用フィルターを、フィルターホルダーにセットします。次にフィルターホルダーの凸部分（2ヶ所）とグループヘッドの凹部分（3ヶ所）が合うように、柄を左側にして下から押し込み（図1）、そのまま、柄をできる限り右に回して（図2）固定します。外す場合は、柄を左に戻します。

取り付け後、フィルターホルダー（抽出穴2つ）の真下にお湯を受けるカップを置いてください。

※抽出口アダプターをあらかじめフィルターホルダー抽出穴に取付けておいてください。（P4 参照）

※フィルターホルダー取り付け位置は、右の〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛り目を基準としてください。



〈下から見た図〉

〈正面から見た図〉



注意

- ①フィルターホルダーの取り付けがゆるいと（しっかり右に回さないと）、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。
- ②フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因となります。

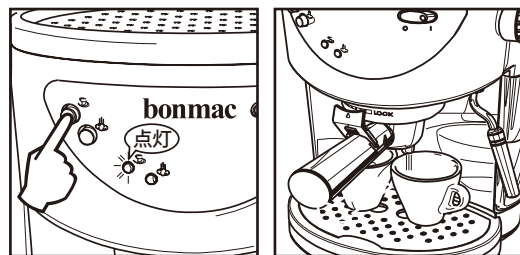
【最初にご使用になる前に必ず行ってください。】

4 コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押す

コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと、抽出穴（2つ）から熱湯が出てきます。（抽出穴の下にカップがあることを確認してください）

※容器にたまったお湯は、トレイに排水しないでください。

トレイは浅いので溢れます。

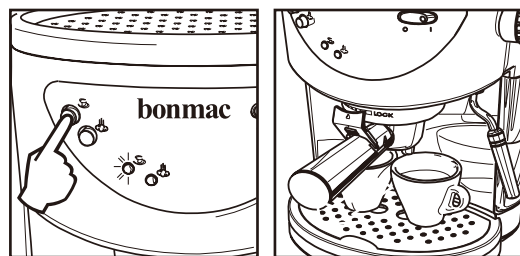


高温注意

給湯中は、絶対にフィルターホルダーを外さないでください。シャワープレートから熱湯が噴き出し、ヤケドをする危険があります。

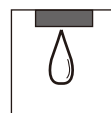
5 再度、コーヒー抽出ボタンを押して給湯を停止する

容器の八分目までお湯が入ったら、再度コーヒー抽出ボタンを押して給湯を止めます。



注意

停止後、ボイラーの再加熱により、一時的に水滴状のお湯がシャワープレートより滴り出ますので注意してください。ボイラー内圧力を安全に保つための安全機構です。

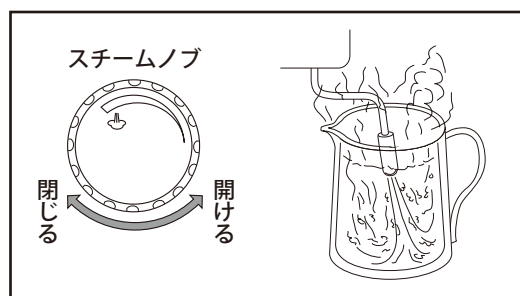


6 スチームノブを開けます

カップをスチームノズルの下に置き、スチームノブをゆっくりと左に回し（＝開ける）ます。

スチームノズルの先から熱湯が出てきます。

カップの八分目までたまったら、スチームノブを閉じて（時計回し）給湯を止めます。



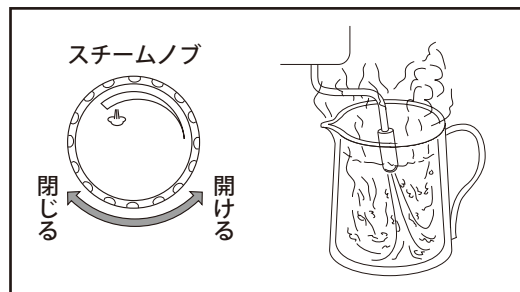
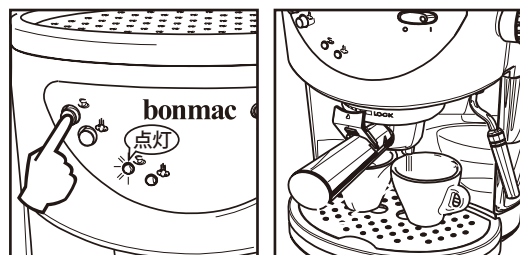
高温注意

カップを外すときは、必ず熱湯の出が止まった後にしてください。

7 手順4、5、6を、5～6回繰り返す

タンクの水量を確認しながら、上記の手順4、5、6を交互に5～6回繰り返します。

ご注意：途中でタンクの水が無くなった場合は、ON/OFFスイッチをOFFにして、スチームノブを閉じて（時計回し）から、水を補充してください。



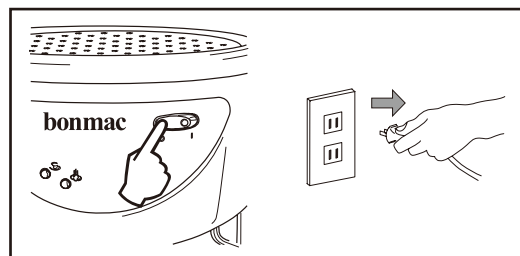
高温注意

フィルターホルダーとスチーム管は、洗浄中および洗浄後しばらくは熱いので、触れないでください。

洗浄後は…

ON/OFFスイッチをOFFにして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

フィルター・フィルターホルダーは冷えてから取り外し、乾かしてください。



簡単操作の手順書



注意

下図は、各用途の操作手順を要約したものです。

ご使用の前に、必ず「エスプレッソの抽出」や「カプチーノの作り方」などをよくお読みください。

給水タンクを満水にして、電源プラグをコンセントに差し込む

ON/OFF スイッチ ON ▶ コーヒー適温ランプ点灯

エスプレッソコーヒーを
抽出する

ECO-PODで抽出する

蒸気を使う（牛乳の泡立て）

お湯を使う

カフェ・ポッドまたは
コーヒー粉をフィルターに詰め、
フィルターホルダーをグループ
ヘッドに取り付ける

ECO-PODを専用フィルターに入れ
ふたを閉めてグループヘッドに
取り付ける

スチーム切替ボタンを
押す

コーヒー適温ランプ
点灯

コーヒー適温ランプ
点灯

スチーム適温ランプ
点灯

コーヒー抽出ボタンを
押す

コーヒー抽出ボタンを
押す

スチームノブを開ける

抽出穴（2つ）から
コーヒーが抽出されます

抽出穴（1つ）から
コーヒーが抽出されます

スチームノズルから
蒸気が噴き出ます

⚠ 高温注意

スチームノズルから
熱湯が出ます

⚠ 高温注意



注意

抽出後、ボイラーの再加熱により、一時的に水滴状のお湯が
シャワープレートより滴り出ますので注意してください。
ボイラー内圧力を安全に保つための安全機構です。



エスプレッソの抽出 コーヒー粉（エスプレッソ用）を使う

本格的なエスプレッソを作る／抽出するために、それに適したコーヒー粉（エスプレッソマシン用）と水、そして風味や温度を保つためのカップをご用意ください。

ご用意ください

コーヒー粉



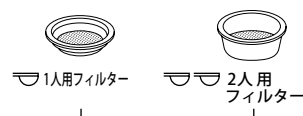
“エスプレッソマシン用”と表記された極細挽きの粉が最適です。

水



新鮮で澄んだ水道水や、軟水（日本の硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。
※硬水を使用するとカルキ分が詰まり故障の原因となります。

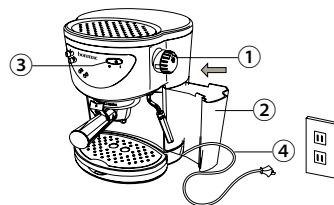
フィルターホルダー



コーヒー粉用のフィルター（2種類：1人用／2人用）およびフィルターホルダーを 사용합니다。

ご使用前に、以下の点をご確認ください

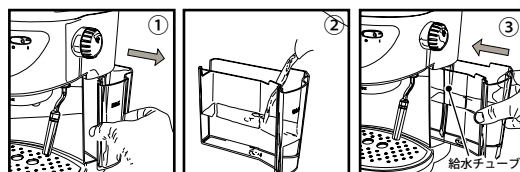
- ① スチームノブを右（→方向：時計回り）に回して閉じます。
- ② 本体から給水タンクを取り外します。
- ③ ON/OFF スイッチが OFF になっていることを確認します。
- ④ 電源プラグはまだコンセントに差込まないでください。



1 給水タンクに水を入れ、本体に戻す

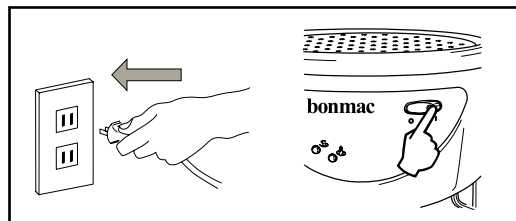
給水タンクの MAX 表示（0.8L）まで澄んだ水道水を入れ、本体に戻します。

※このとき、給水チューブを給水タンクに確実に沈めてください。



2 電源プラグをコンセントに差込み、ON/OFF スイッチを ON にする

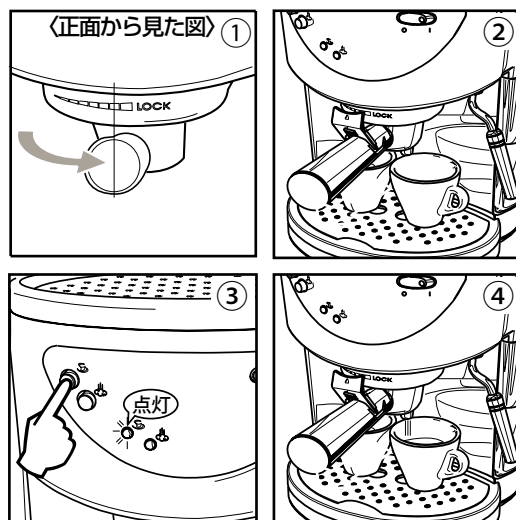
電源プラグをコンセントに直に差込み、ON/OFF スイッチを押します。ボイラーの加熱が始まります。



3 フィルターとカップの湯煎をする

（P.6～P.7「内部洗浄」の手順 3～5 を参照）

- ① 1人用フィルターまたは2人用フィルターをフィルターホルダーにセットし、グループヘッドにホルダーを右図の〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛り目を基準として取り付けてください。
- ② フィルターホルダーの抽出穴（2つ）の下に、使用するカップ（2杯分を抽出する場合は2コ）を置きます。
- ③ コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと抽出穴から熱湯がでえますので、カップの八分目まで入ったら、再度コーヒー抽出ボタンを押して、給湯を停止します。
※ 2杯用フィルターを使用して1度に2杯分（2カップ）を抽出した方がよりクレマの厚いエスプレッソができますので、お試しください。



4 グループヘッドからフィルターホルダーを外す

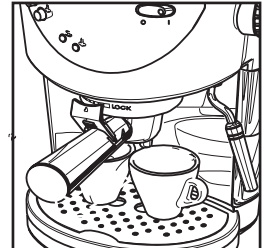
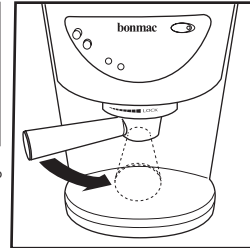
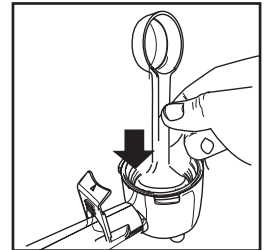
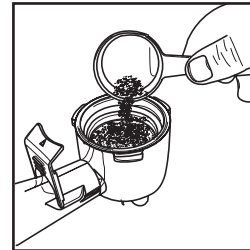
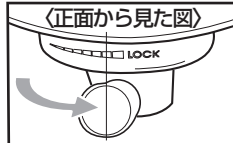
フィルターおよび金属部分は熱くなっていますので、触れないでください。また、フィルターホルダー内にお湯が残っている場合がありますので、ご注意ください。残っているお湯は柔らかい布巾などでふきとってください。

5 フィルターにエスプレッソ用の粉を詰め、ホルダーをグループヘッドに取り付ける

フィルターに、付属のタンパー付計量スプーンを使って、適量のエスプレッソ用の粉を入れます。次にタンパー付計量スプーンのタンパー部分で粉を平に押し詰めてください。(タンピング)

フィルターホルダーをグループヘッドに取り付け、湯煎したカップをフィルターホルダー抽出穴の下に置きます。

- 1 杯用：計量スプーン小山盛り1杯 (約 8 ～ 10g)
- 2 杯用：計量スプーンすりきり 2 杯弱 (約 12 ～ 14g)



- ※フィルターの縁に付いたコーヒー粉は、必ず払い落としてください。
- ※フィルターホルダー取り付け位置は、上の〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛り目を基準としてください。



注意

- ① フィルターホルダーの取り付けがゆるいと (しっかり右に回さない)、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。
- ② フィルターホルダーに粉を入れすぎるとフィルターホルダーをセットしにくくなります。その際はフィルター内の粉量を減らして調整してください。不完全な状態で抽出を行うと、フィルターホルダーが外れ、ヤケドの原因になります。
- ③ フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因になります。

6 コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押す (抽出穴の下にカップがあることを確認してください)

コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと、エスプレッソの抽出が始まり、抽出穴 (2 つ) からエスプレッソが出てきます。カップに半分ほど (約 30cc) 入ったら、再度、コーヒー抽出ボタンを押して、エスプレッソの抽出を停止します。

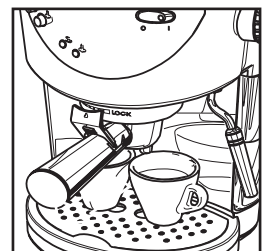
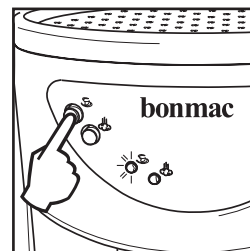
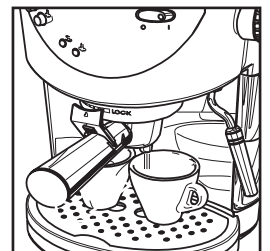
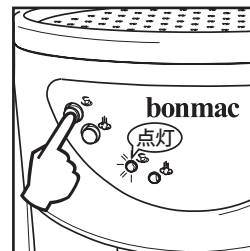
エスプレッソ 1 杯分を抽出するときの基準値

- ・エスプレッソの抽出量＝約 30cc
- ・30cc 抽出に要する時間 (抽出時間) ＝約 20 秒



高温注意

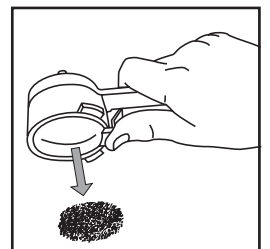
給湯中は、絶対にフィルターホルダーを外さないでください。シャワープレートから熱湯が噴き出し、ヤケドをする危険があります。



7 グループヘッドからフィルターホルダーを外し、抽出済みのコーヒー粉を捨てる

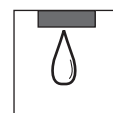
エスプレッソ抽出後、グループヘッドからフィルターホルダーを外し、抽出済みのエスプレッソ用コーヒー粉を捨てます。このとき、柄からフィルター止めを起こし、フィルターを押さえてください。

※抽出直後のフィルターやフィルターホルダーの金属部、お湯を含んだコーヒー粉は熱いので、触らないでください。



注意

抽出後、ボイラーの再加熱により、一時的に水滴状のお湯がシャワープレートより滴り出ますので注意してください。ボイラー内圧力を安全に保つための安全機構です。



続けてエスプレッソを抽出する場合は、手順 3 ～ 7 を繰り返してください

注意点

- ・一度抽出したコーヒー粉は使用せず、毎回、新しいコーヒー粉をご使用ください。
- ・給水タンクの水量を調べ、水を補充する場合は、必ず電源を切ってください。

コーヒー粉（エスプレッソ用）を使う

お手入れをする

8 シャワープレートの洗浄（その日の最終使用後）

フィルターホルダーを外した後、シャワープレートの下に広口の容器を置き、コーヒー抽出ボタンを押し、お湯をだしシャワープレートを洗浄してください。

洗浄後、コーヒー抽出ボタンを再び押してお湯を止めます。

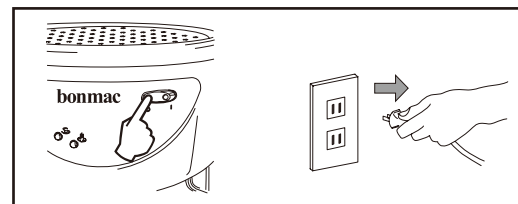
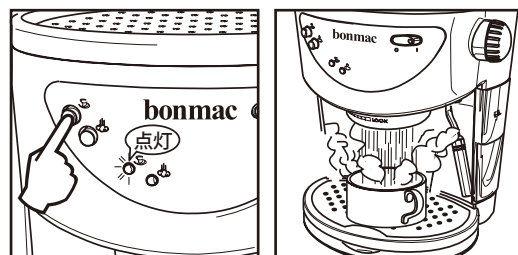
停止する

ON/OFF スイッチを OFF にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（スチームノブも閉じる）

カップ受けトレイは水洗いし、乾かして元に戻します。

フィルター・フィルターホルダーは冷えてから取り外し、乾かしてください。

給水タンクを本体から取り外し、残水を捨ててください。



エスプレッソ抽出の基本（コーヒー粉を使う場合）

30cc のエスプレッソを約 20 秒で抽出するよう豆の挽き具合、粉の詰め具合、粉の量を微調整してエスプレッソの抽出の基本をマスターするようにしましょう。

※エスプレッソは 2 杯用フィルターを使い、1 度に 2 杯（2 カップ）抽出するほうがより美味しいエスプレッソを作ることができます。

抽出量：約 30cc

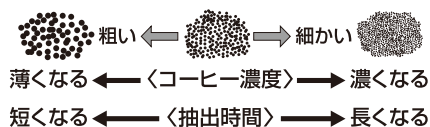
抽出時間：約 20 秒

粉の量：13g（目安）

※粉の量は 2 杯分（2 カップ）です。

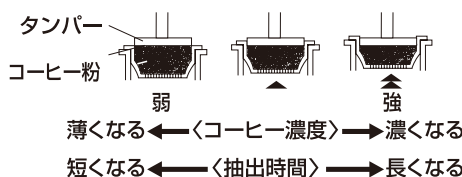
豆の挽き具合

コーヒー粉の挽き具合（粒度）を細かいものや粗いものに変えてみてください。



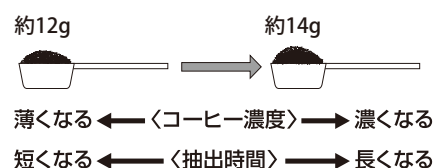
粉の詰め具合

フィルター内のコーヒー粉の詰め具合（密度）をタンパーの押す力の強弱で調整してください。



粉の量

付属のタンパー付計量スプーンで山盛り1杯（約 12～14g）を基準に、少しずつ増量してください。



抽出のときは、「クレマ」で確認しましょう

エスプレッソの表面にできるムース状の細かい泡の層を「クレマ」と言います。

この「クレマ」を見れば、エスプレッソの抽出が最適に行われたかを判断することができます。

最良の「クレマ」は、赤みがかった茶色の細かい泡で、厚さが約 2～3mm の長く消えない層ができます。

※豆により、「クレマ」の色は異なりますが、抽出が不適切ですと以下のような「クレマ」になります。

- 抽出不足（10 秒前後の抽出）：白っぽく大きな泡で、層が薄く早めに消えてしまう。
- 抽出過度（30 秒前後の抽出）：濃い茶色の泡ができてしまう。

エスプレッソの抽出

厳選された豆をエスプレッソ用に深焙り／細挽きしたコーヒー粉を圧縮パックした「カフェ・ポッド」をご利用になれば、手早く簡単にエスプレッソを味わうことができます。

ご用意ください

カフェ・ポッド



※1コ（1杯分）しかセットできません。
ご使用（抽出）は1回限りです。

水



新鮮で澄んだ水道水や、軟水（日本の硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。
※硬水を使用するとカルキ分が詰まり故障の原因となります。

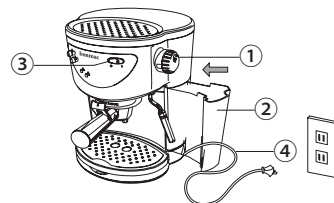
フィルターホルダー



カフェ・ポッド専用フィルターを使います。
※抽出前にこちらのフィルターに取り替えてください。

ご使用前に、以下の点をご確認ください

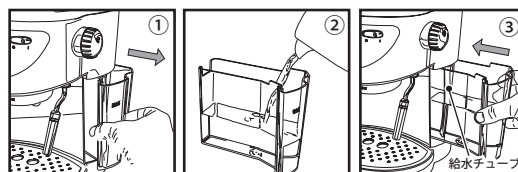
- ① スチームノブを右（一方向：時計回り）に回して閉じます。
- ② 本体から給水タンクを取り外します。
- ③ ON/OFF スイッチが OFF になっていることを確認します。
- ④ 電源プラグはまだコンセントに差込まないでください。



1 給水タンクに水を入れ、本体に戻す

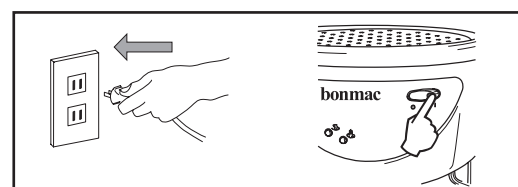
給水タンクの MAX 表示（0.8L）まで澄んだ水道水を入れ、本体に戻します。

※このとき、給水チューブを給水タンクに確実に沈めてください。



2 電源プラグをコンセントに差込み、ON/OFF スイッチを ON にする

電源プラグをコンセントに直に差込み、ON/OFF スイッチを押します。ボイラーの加熱が始まります。

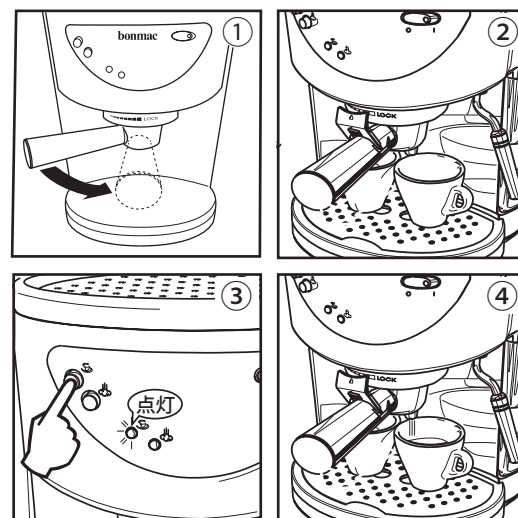


3 フィルターとカップの湯煎をする

（P.6～7「内部洗浄」の手順 3～5 を参照）

- ① 1人用／カフェ・ポッド共用フィルターをフィルターホルダーにセットし、グループヘッドにホルダーを右図のように取り付けます。
- ② フィルターホルダーの抽出穴（2つ）の真下に、使用するカップを置きます。
- ③ コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと抽出穴から熱湯がでえますので、カップの八分目まで入ったら、再度コーヒー抽出ボタンを押して、給湯を停止します。

※フィルターホルダー取り付け位置は、右の〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛り目を基準としてください。



注意

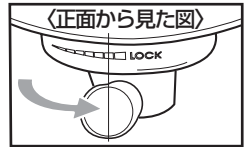
- ① フィルターホルダーの取り付けがゆるいと（しっかり右に回さない）、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。
- ② フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因になります。

カフェ・ポッドを使う

4 グループヘッドからフィルターホルダーを外す

フィルターおよび金属部分は熱くなっていますので、触れないでください。また、フィルターホルダー内にお湯が残っている場合がありますので、ご注意ください。残っているお湯は柔らかい布巾などでふきとってください。

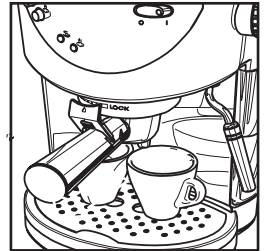
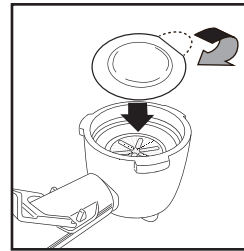
※フィルターホルダー取り付け位置は、右の〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛りを基準としてください。



5 カフェ・ポッド専用フィルターが取り付けられているか確認

- ①カフェ・ポッド専用フィルターが取り付けいていなければ専用フィルターに取り替える。
- ②フィルターの上にカフェ・ポッドの端が柄の反対に向く様にセットします。
- ③フィルターホルダーをグループヘッドにしっかりと取り付け、先ほど湯煎したカップを空にして下に置きます。

※カフェ・ポッドは、1コ（1杯分）しかセットできません。
また、ご使用（抽出）は1回限りです。



注意

- ①フィルターホルダーの取り付けがゆるいと（しっかり右に回さない）、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。
また、不完全な状態で抽出を行うと、フィルターホルダーが外れ、ヤケドの原因になります。
- ③フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因になります。

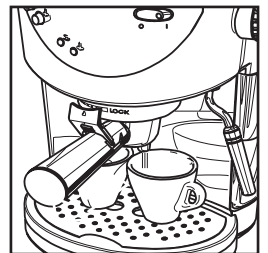
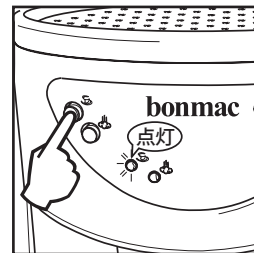
6 コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押す

（抽出口の下にカップがあることを確認してください）

コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと、エスプレッソの抽出が始まり、抽出穴（2つ）からエスプレッソが出てきます。カップに半分ほど（約 30cc）入ったら、再度、コーヒー抽出ボタンを押して、エスプレッソの抽出を停止します。

エスプレッソ 1 杯分を抽出するときの基準値

- ・エスプレッソの抽出量＝約 30cc
- ・30cc 抽出に要する時間（抽出時間）＝約 20 秒



※抽出中に湯適温ランプが点いたり消えたりするのは、サーモスタットが温度（適温）の調整をしているためで、故障ではありません。



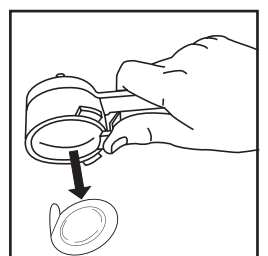
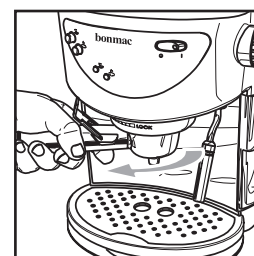
高温注意

給湯中は、絶対にフィルターホルダーを外さないでください。
シャワープレートから熱湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。

7 グループヘッドからフィルターホルダーを外し、抽出済みのカフェ・ポッドを取り出す

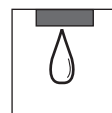
エスプレッソ抽出後、グループヘッドからフィルターホルダーを外し、抽出済みのカフェ・ポッドを取り出します。このとき、柄からフィルター止めを起し、フィルターを押さえてください。

※抽出直後のフィルターやフィルターホルダーの金属部、お湯を含んだカフェ・ポッドは熱いので、触らないでください。



注意

抽出後、ボイラーの再加熱により、一時的に水滴状のお湯がシャワープレートより滴り出ますので注意してください。
ボイラー内圧力を安全に保つための安全機構です。



続けてエスプレッソを抽出する場合は、手順 3 ～ 7 を繰り返してください

注意点

- ・一度抽出したカフェ・ポッドは再び使用できません。毎回、新しいカフェ・ポッドをご使用ください。
- ・給水タンクの水量を調べ、水を補充する場合は、必ず電源を切ってください。

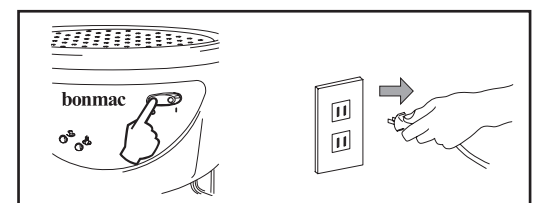
停止する

ON/OFF スイッチを OFF にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（スチームノブも閉じる）

カップ受けトレイは水洗いし、乾かして元に戻します。

フィルター・フィルターホルダーは冷えてから取り外し、乾かしてください。

給水タンクを本体から取り外し、残水を捨ててください。



ECO-POD とは、UCCが独自に開発したコーヒー抽出システムです。

ECO-POD 専用フィルターホルダーにECO-PODをセットする事でレギュラーコーヒーを楽しむ事が出来ます。

ご用意ください

ECO-POD



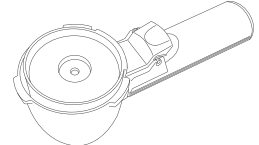
※1コ(1杯分)しかセットできません。
ご使用(抽出)は1回限りです。

水



新鮮で澄んだ水道水や、軟水(日本の硬度:
90mg/L 以下)のミネラルウォーターが適しています。
※硬水を使用するとカルキ分が詰まり故障の
原因となります。

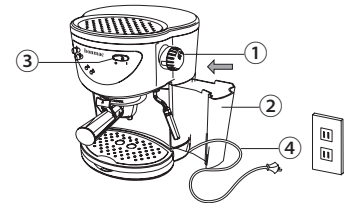
ECO-POD 専用ホルダー



ECO-POD専用ホルダーを
使用します。

ご使用前に、以下の点をご確認ください

- ① スチームノブを右(一方向:時計回り)に回して閉じます。
- ② 本体から給水タンクを取り外します。
- ③ ON/OFF スイッチが OFF になっていることを確認します。
- ④ 電源プラグはまだコンセントに差込まないでください。



1 給水タンクに水を入れ、本体に戻す

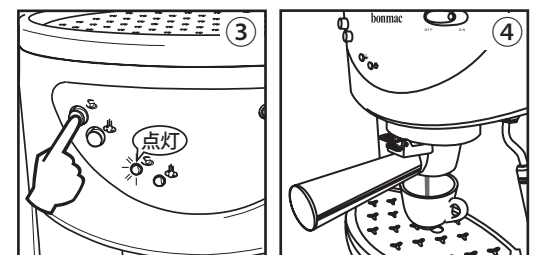
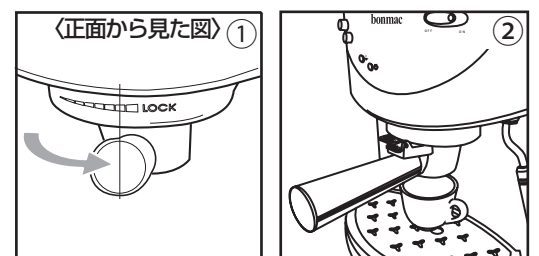
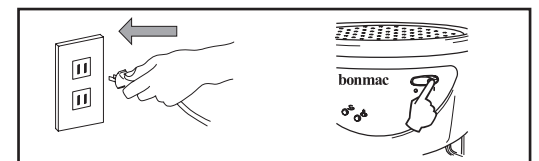
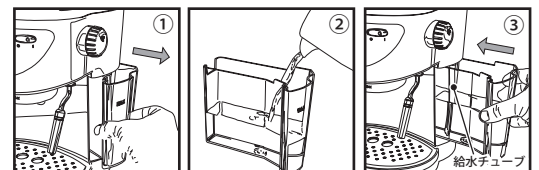
給水タンクの MAX 表示(0.8L)まで澄んだ水道水を入れ、本体に戻します。
※このとき、給水チューブを給水タンクに確実に沈めてください。

2 電源プラグをコンセントに差込み、 ON/OFF スイッチを ON にする

電源プラグをコンセントに直に差込み、ON/OFF スイッチを押します。
ボイラーの加熱が始まります。

3 ECO-POD専用ホルダーとカップの湯煎をする (P.6~7「内部洗浄」の手順 3~5 を参照)

- ① 1人用/ECO-POD専用ホルダーをグループヘッドにホルダーを右図の
〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛り目を基準として取り
付けてください。(ECO-PODは取り付けないでください。)
- ② フィルターホルダーの抽出穴(1つ)の真下に、使用するカップを置きます。
使用するカップが納まらない場合は、カップ受けトレイを外して
高さ調節する事もできます。
※カップ受けトレイを取る場合は、コーヒーが本体外に飛び散る場合
があるので十分ご注意ください。
- ③ コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと抽出穴から熱湯がでけますので、
カップの八分目まで入ったら、再度コーヒー抽出ボタンを押して、給湯を停止します。
停止後、カップを本体からはなしてお湯を捨ててください。



注意

- ① フィルターホルダーの取り付けがゆるいと(しっかり右に回さないと)、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。
- ② フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因になります。

4 グループヘッドからホルダーを外す

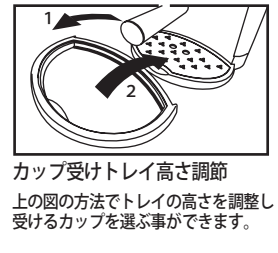
フィルターおよび金属部分は熱くなっていますので、触れないでください。また、ホルダー内にお湯が残っている場合がありますので、ご注意ください。残っているお湯は柔らかい布巾などでふきとってください。

5 ECO-PODをホルダーにセットし、再びグループヘッドに取り付ける

- ① 右の図のようにECO-PODの縁がホルダーの柄の方向に向くようにセットしたらホルダーのふたを閉じてください。
- ② ホルダーをグループヘッドに取り付け、先ほど湯煎したカップを空にして下に置きます。

※使用するカップが納まらない場合は、カップ受けトレイを外して高さ調節する事もできます。

※ECO-PODは、1コ（1杯分）しかセットできません。また、ご使用（抽出）は1回限りです。



※カップ受けトレイを取る場合は、コーヒーが本体外に飛び散りやすくなるので十分ご注意ください。



- 注意**
- ① フィルターホルダーの取り付けがゆるいと（しっかり右に回さない）、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。不完全な状態で抽出を行うと、フィルターホルダーが外れ、ヤケドの原因になります。
 - ③ フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因になります。

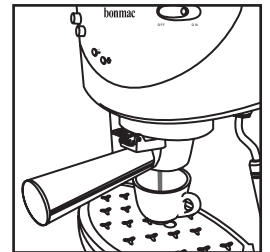
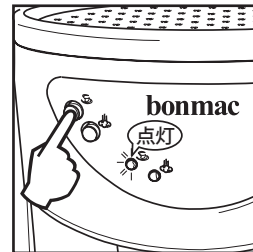
6 コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押す

（抽出口の下にカップがあることを確認してください）
 コーヒー適温ランプ点灯後、コーヒー抽出ボタンを押すと、ECO-PODの抽出が始まり、抽出穴（1つ）からECO-PODが抽出されます。
 カップの七分目ほど入ったら、再度コーヒー抽出ボタンを押して、ECO-PODの抽出を停止します。

※ボタンを押して停止させてから少しの時間は抽出が続くのでカップからコーヒーがこぼれないようにご注意ください。

これで抽出終了です。カップを本体から離してください。

※抽出後のコーヒーはとても熱いので注意してお召し上がりください。



※抽出中に湯適温ランプが点いたり消えたりするのは、サーモスタットが温度（適温）の調整をしているためで、故障ではありません。



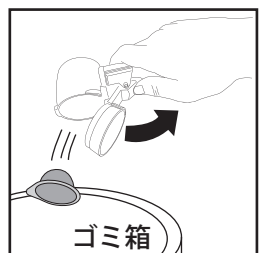
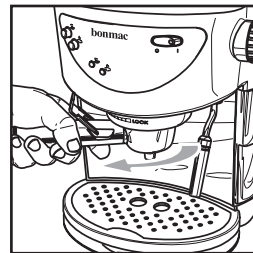
高温注意 給湯中は、絶対にホルダーを外さないでください。プレートから熱湯が噴き出し、やけどの原因になります。

7 グループヘッドからホルダーを外し、抽出済みのエコ・ポッドを取り出す

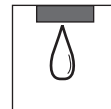
エスプレッソ抽出後、グループヘッドからホルダーを外し右図のように抽出済みのECO-PODを取り出します。

※抽出直後のホルダーの金属部、お湯を含んだECO-PODは熱いので、触らないでください。

やけど注意：ホルダーのフタはゆっくりと開けて下さい。フタに残っているお湯がかかるおそれがあります。



注意 抽出後、ボイラーの再加熱により、一時的に水滴状のお湯がプレートより滴り出ますので注意してください。ボイラー内圧力を安全に保つための安全機構です。



続けてECO-PODを抽出する場合は、手順3～7を繰り返してください

注意点

- ・一度抽出したECO-PODは再び使用できません。毎回、新しいECO-PODをご使用ください。
- ・給水タンクの水量を調べ、水を補充する場合は、必ず電源を切ってください。

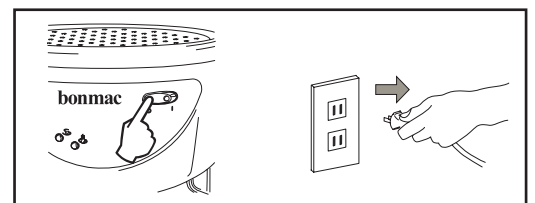
停止する

ON/OFF スイッチを OFF にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（スチームノブも閉じる）

カップ受けトレイは水洗いし、乾かして元に戻します。

フィルター・フィルターホルダーは冷えてから取り外し、乾かしてください。

給水タンクを本体から取り外し、残水を捨ててください。



カプチーノの作り方

蒸気で牛乳を泡立てて、エスプレッソに盛りつけると、カプチーノができあがります。
泡立てに適した牛乳と泡立て用のピッチャーをご用意ください。

ご用意ください

牛乳



新鮮で冷えた成分無調整／乳脂肪分2.3%以上の牛乳をご使用ください。

※加工乳や低脂肪乳、また一度温めた牛乳は、泡立ちがよくありません。

泡立ての容器（ピッチャー）

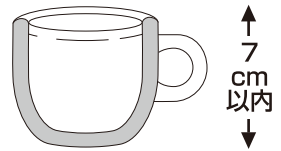
口径は、約6～7cm（目安）



約250～400mLの容量で、取っ手のある金属製（ステンレスなど）のものが最適です。

※陶器やガラス製は、内部のミルクの温度が分かりにくいため、金属製のものをおすすめします。

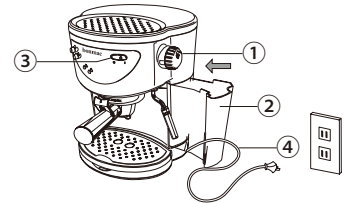
カップ



カプチーノ用のカップには約120～150mLの容量で、肉厚のものをお選びください。

ご使用前に、以下の点をご確認ください

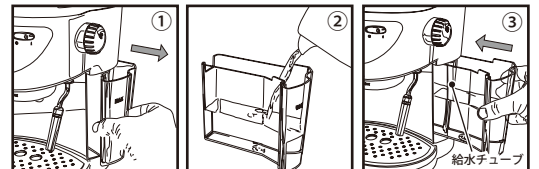
- ① スチームノブを右（一方向：時計回り）に回して閉じます。
- ② 本体から給水タンクを取り外します。
- ③ ON/OFF スイッチが OFF になっていることを確認します。
- ④ 電源プラグはまだコンセントに差込まないでください。



1 給水タンクに水を入れ、本体に戻す

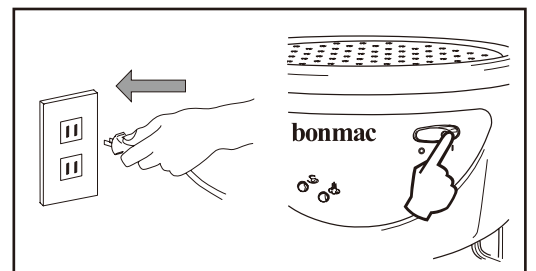
給水タンクの MAX 表示（0.8L）まで澄んだ水道水を入れ、本体に戻します。

※このとき、給水チューブを給水タンクに確実に沈めてください。



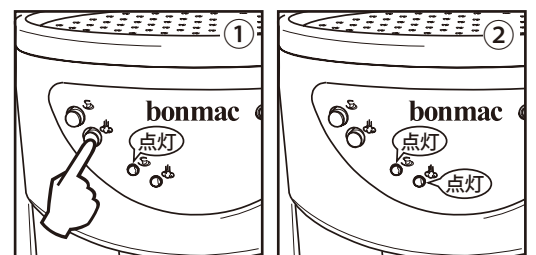
2 電源プラグをコンセントに差込み、ON/OFF スイッチを ON にする

電源プラグをコンセントに直に差込み、ON/OFF スイッチを押します。
ボイラーの加熱が始まります。

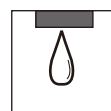


3 コーヒー適温ランプ点灯後、スチーム切替ボタンを押す

コーヒー適温ランプが点灯したら、スチーム切替ボタンを押します。
スチーム適温ランプが点灯すると準備完了です。



ボイラーの再加熱により、一時的に水滴状のお湯がシャワープレートより滴り出ますので注意してください。
ボイラー内圧力を安全に保つための安全機構です。



4 スチームノズルを使って、牛乳を泡立てる

スチーム適温ランプ点灯後、泡立て用のピッチャーに入れた牛乳をスチームのノズルからの蒸気で泡立てます。

【泡立ての手順】

- ①スチーム適温ランプが点灯したら、スチームノブを3～5秒ほど開けて、スチーム管内の水を排出します。排出後、一度スチームノブをしっかりと閉じます。
- ②新鮮で冷えた牛乳を、ピッチャーの約1/3～1/2まで入れます。約2倍に泡立ちますので、これ以上入れると溢れ出る場合があります。(カプチャーノ1杯分のミルクは出来上がり量60～70ccが目安です)
- ③(スチーム適温ランプ点灯時) スチームノズルを半分ほどピッチャーの牛乳の中に浸け、ピッチャーを傾けた状態でスチームノブを徐々に全開にします。スチームノズルの先からシューツという音と共に蒸気が噴き出し、牛乳を熱してスチームミルクを作ります。

泡立て中は、常にスチームノズルの先端がミルクの表面から出ないようにしてください。表面から出るとプスプスという音がして、泡が大きくなってしまいます。

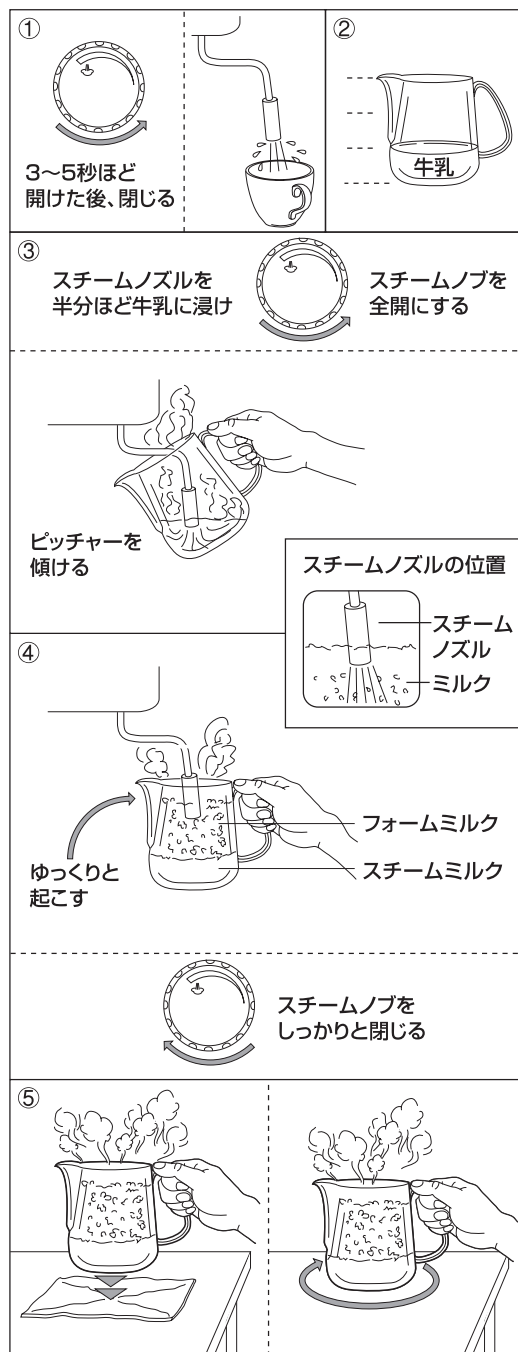
- ④しばらくするとミルクが温まり、ピッチャーの底が触ると人肌よりやや熱い状態になります。ミルクが泡立ち始めますのでピッチャーをゆっくりと起こします。ピッチャーの口近くまで泡が上がってきたら、スチームノブを閉じて、蒸気を止めます。



スチームノズルから蒸気が出ている(=スチームノブを開けている)ときに、ピッチャーを外さないでください。ヤケドをする危険があります。

- ⑤蒸気の出が止まったら、スチームノズルからピッチャーを外します。ピッチャーを濡れ布巾の上でトントンと軽く叩いたり、円を描くように回して、空気とよく混ぜ合わせてください。泡が細かくなり、長持ちします。
(注意) ミルクを加熱しすぎると泡立ちがうまくいかないのでご注意ください。

湯煎をする エスプレッソを抽出する前に、必ず使用するカップとフィルターの湯煎を行ってください。



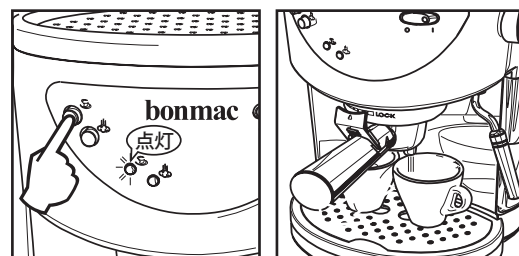
5 エスプレッソを抽出する

スチームを使用してからすぐにエスプレッソまたはECO-PODを抽出するとスチームの蒸気が抽出口から出てきてしまいます。それを防ぐ為に、スチーム切替えボタンを戻してからもう一度スチームノブを開いて蒸気を抜いてください。

抜いたあとはノブを戻して、「エスプレッソの抽出」を参考にエスプレッソを抽出してください。

エスプレッソを抽出

- ※コーヒー粉で抽出の場合 (P.9 3～P.10 7)
- カフェ・ポッドで抽出の場合 (P.12 3～P.13 7)



※フィルターホルダー取り付け位置は、左の〈正面から見た図〉を参考に、Lockから2目盛り目を基準としてください。



- ① フィルターホルダーの取り付けがゆるいと(しっかり右に回さない)、シャワープレートとホルダーのすき間から、お湯が漏れる場合がございますので、ご注意ください。
- ② 粉で抽出する場合、フィルターホルダーに粉を入れすぎるとフィルターホルダーをセットしにくくなります。不完全な状態で抽出を行うと、フィルターホルダーが外れ、ヤケドの原因になります。
- ③ フィルターホルダーを取り付ける際、ホルダーの位置がマシンの中心にまで届かない場合がございますが不良ではございません。無理に回そうとすると破損の原因になります。

カプチーノの作り方（先にエスプレッソの抽出をお読みください）

6 エスプレッソに泡立てた牛乳を盛る （カプチーノの出来上がり）

抽出したエスプレッソに適量のミルク（スチームミルク）を注ぎ、スプーンを使って泡（フォームミルク）を盛りつけます。後はお好みで、砂糖やココアパウダー、シナモンなどを添えてください。

お手入れをする

7 スチームノズルとシャワープレートの洗浄

スチームノズルを使用した後は、必ず孔に残っているミルクなどを洗い流してください。そのままにしておくと、固まって目詰まりを起こします。

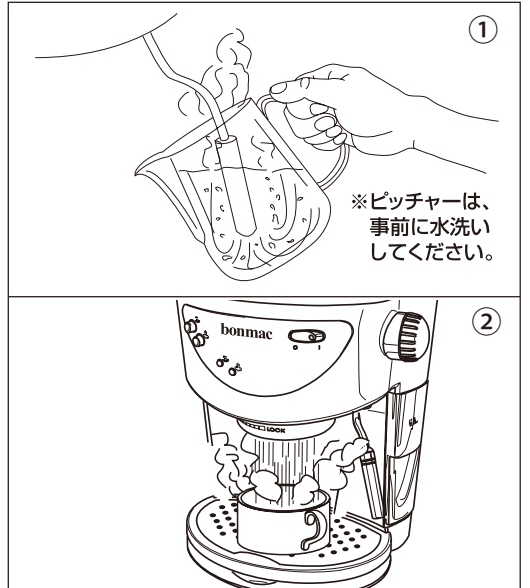
①【スチームノズルの洗浄】（毎回使用後）

半分ほど水を入れたピッチャーにスチームノズル全体を浸け、コーヒー抽出ボタンを押して、スチームノズルを開けます。スチーム管からはお湯が出てきますので、お湯がきれいになるまで繰り返し洗浄します。洗浄後、スチームノズルをしっかりと閉じてください。

②【シャワープレートの洗浄】（その日の最終使用後）

フィルターホルダーを外した後、シャワープレートの下に広口の容器を置き、コーヒー抽出ボタンを押し、お湯をだしシャワープレートを洗浄してください。

洗浄後、コーヒー抽出ボタンを再び押してお湯を止めます。



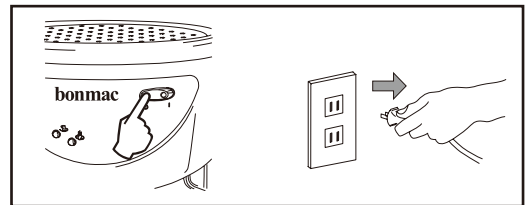
停止する

ON/OFF スイッチを OFF にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（スチームノズルも閉じる）

カップ受けトレイは水洗いし、乾かして元に戻します。

フィルター・フィルターホルダーは冷えてから取り外し、乾かしてください。

給水タンクを本体から取り外し、残水を捨ててください。



カフェ・ラテの作り方

エスプレッソにスチームミルクを加えると、カフェ・ラテになります。スチームミルクとは、泡の少ないあたためられたミルクのことです。右図のようにフォームミルクをピッチャーからエスプレッソに注ぐ際、はしやスプーンの柄などで泡が入るのを押さえると、スチームミルクだけを注ぐことができます。



エスプレッソとスチームミルクは同量が目安です。

お手入れ方法

使用頻度や汚れ具合によりますが、下記の要領で定期的にお手入れをしてください。

水洗いできません

本体表面、電源コード・プラグ

固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は、少量の台所食器用洗剤をつけた布で拭き、次に濡れた布巾で洗剤をよく拭き取ります。

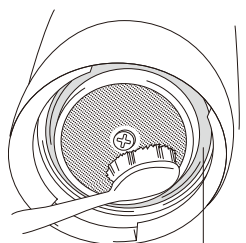


- ・プラグをコンセントから抜いてください。
- ・水に浸けたり、水洗いしないでください。

水洗いできません

シャワープレート

抽出後、シャワープレートおよび周辺に付着したエスプレッソ粉を、キッチンタオルや濡れ布巾などで拭き取ります。次に、広口の容器（排水用）をシャワープレートの下に置いて、コーヒー抽出ボタンを押し、シャワープレートからのお湯で洗い流します。ゴムパッキンや接合部のエスプレッソ粉は、柔らかめのブラシを使い、取り除いてください。



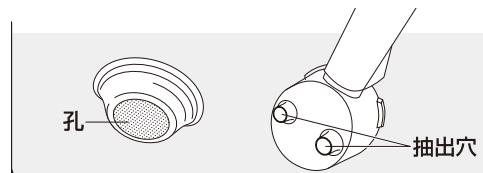
- ・その日の最終使用後に、必ずお手入れをしてください。

ゴムパッキン

水洗いできます

フィルター、フィルターホルダー、アダプター

ぬるま湯に浸け、ブラシまたは楊枝などで穴の通りをよくします。



※洗剤は、なるべく使用しないでください。

コーヒーの脂肪分が金属表面に膜をつくり、金属臭を抑えます。

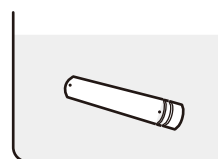
- ・その日の最終使用後に、必ずお手入れをしてください。

⚠ 警告：漂白剤は絶対に使用しないでください。

水洗いできます

スチームノズル

使用後のお手入れは、「カプチーノの作り方」手順 6 (P.14) を参照してください。定期的に、スチーム管から外してぬるま湯に浸け、楊枝などで孔の通りをよくしてください。



水洗いできます

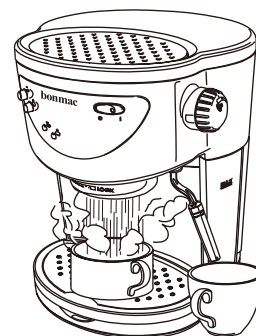
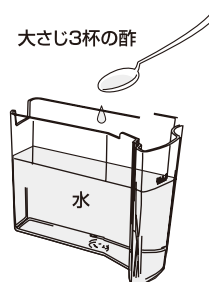
カップ受け、トレイ

本体から外して水洗いし、乾かして元に戻します。

石灰分の除去

長く使っていると、シャワープレートやミルクフロスターなどに石灰分が付着し、お湯や蒸気の出が悪くなります。使用頻度によりますが、3 カ月～半年に1度、以下の要領で石灰分の除去を行ってください。

- ① 吸水タンクの水(MAX 表示:0.8L) に大さじ 3 杯の酢を加え、本体に戻します。ON/OFF スイッチを ON にして、スチームボタンを押します。
- ② スチーム適温ランプ点灯後、スチームノブの開閉により給湯口およびスチーム管から交互にお湯を出します。タンクの水が無くなるまで続けてください。
- ③ 給水タンクの水が無くなったなら、今度は水 (0.8L) だけで②の操作をします。



美味しいエスプレッソ・カプチーノを作るために

思うように美味しいエスプレッソ／カプチーノができない場合は、以下の点をチェックしてください。

※エスプレッソ 1 杯分：約 30cc、抽出時間：約 20 秒を基準にしています。

	状態	予想される原因	対処のしかた
エ ス プ レ ッ ソ	クレマが薄く 早めに消える	抽出が不十分＝抽出時間が短い ▼	抽出時間が約 20 秒になるように 以下を調整する ▼
		フィルター内のコーヒー粉の 詰め具合（密度）が弱い	・タンピングをやや強めに押す ・フィルターホルダーをしっかり 取付ける
		コーヒー粉の量が少ない	前回より量を増やす
		コーヒー粉の挽き具合が粗い	より細挽きの粉を使う
		コーヒー粉が古い	新しい粉を使う
		抽出時の湯温が低い	・使用するカップとフィルターを 事前に湯せんする。 ・湯適温ランプ点灯後に、コーヒー 抽出ボタンを押す
	濃い茶色のクレマで 層が薄い	抽出のしすぎ＝抽出時間がかかる ▼	抽出時間が約 20 秒になるように 以下を調整する ▼
		フィルター内のコーヒー粉の 詰め具合（密度）が強すぎる	タンピングを軽くする
		コーヒー粉の量が多い	前回より量を減らす
		コーヒー粉の挽き具合が細かすぎる	やや粗めの粉を使う
	焼けたような味がする	抽出のしすぎ	上記参照
		コーヒー粉が古い	
		しばらく使っていない	内部洗浄後、使用する（P.6～P.7）
		スチームを使った後湯煎しなかった	湯煎してから抽出する
カ プ チ ー ノ	牛乳の泡立ちが悪い	鮮度、種類ともに不適当な牛乳を 使用している	新鮮で冷えた成分無調整／乳脂肪分 2.3%以上の牛乳を使う
	ミルクフォームの できが悪い	泡立て用の容器（ピッチャー）の 形が不適当	口径が小さく深めのもの（金属製） を使う
		スチームノズルの孔の目詰り	針や楊枝で孔の通りをよくする

故障かな？と思ったら（修理を依頼される前にお読みください）

使用中に異常が生じた場合は、直ちにスチームノブを閉じ、電源を切り、使用を中止して、以下の点をお調べください。それでも正常に機能しないときは、お求めの販売店までお問い合わせください。

状態	予想される原因	対処のしかた
エスプレッソの出が悪い／出ない（抽出されない）	給水タンクに水がない	給水タンクに水（0.8L）を入れる
	給水チューブが給水タンクに入っていない	給水チューブを確実にタンク内に入れる
	シャワープレートおよびフィルターが目詰りをおこしている	シャワープレートおよびフィルターのお手入れをする
	フィルター内のコーヒー粉が詰まりすぎている	タンピングする力を弱めにする
	コーヒー粉の量が多すぎる	前回より量を減らす
	コーヒー粉が細かすぎる	前回よりやや粗めの粉を使う
シャワープレートとフィルターホルダーの取り付け箇所からお湯が漏れる	コーヒー粉を使う場合	フィルターの縁にコーヒー粉が付着したままでシャワープレートに取り付けた
		取り付けの前に、フィルターの縁に付着したコーヒー粉を払い落とす
		フィルター内のコーヒー粉が詰まりすぎている
ポンプ作動時に変な音がする	給水タンクに水がない	タンピングする力を弱めにする
	給水チューブが給水タンクに入っていない	前回より量を減らす
蒸気の出が悪い／出ない	スチーム適温ランプが点灯していない	給水タンクに水を入れる
	給水タンクに水がない	スチーム切替ボタンを押してしばらく待つ
	スチームノズルの目詰まり	給水タンクに水を入れる
蒸気が水っぽい	スチーム適温ランプが点灯しているか確認する	お手入れをする（P.17 参照）
	スチーム管に水が溜まっている	事前にスチームノブを開けて、水抜きをする

[illegible]

アフターサービス

1. 保証書の内容の ご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間 は、お買い上げ日より1年間

3. 修理 をお申しつけされるとき

「保証期間中」
製品に保証を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理いたします。
「保証期間を経過しているとき」
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料金、部品代金、出張料金などで構成されています。
「技術料金」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代金」は、修理に使用した部品および補助材料代金です。
「出張料金」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

保証書

持ち込み修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料金や輸送料金などの実費を申し受けます。

型 名	BME-100		
●お客様	お名前	☎	
	ご住所 〒		
●お買い上げ日 年 月 日	●販売店名・住所		
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎		

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社の支店営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内 でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (ト) 消耗部品の交換。
- 本書 は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書 は盗難・火災などの不可抗力以外でも紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お役様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン 株式会社

ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン 株式会社

本 社	〒658-0023	神戸市東灘区深江浜町95番	TEL (078) 451-8300	FAX (078) 451-5777
テクニカルセンター	〒658-0023	神戸市東灘区深江浜町95番	TEL (078) 451-8992	FAX (078) 451-8379
R 事 業 部	〒981-1226	宮城県名取市植松字入生265	TEL (022) 384-6188	FAX (022) 384-0745

東京本部				
広 域 営 業 部	〒105-0004	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル	TEL (03) 5400-3483	FAX (03) 5400-5724

支店・営業所				
東 日 本 支 店				
東京営業所 / 東京ショールーム	〒105-0004	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル	TEL (03) 5400-5720	FAX (03) 5400-5723
名古屋営業所 / 名古屋ショールーム	〒451-0046	名古屋市中区牛島町5番4号	TEL (052) 587-7678	FAX (052) 587-7677
西 日 本 支 店				
大阪営業所 / 大阪ショールーム	〒537-0001	大阪市東成区深江北3丁目5番7号	TEL (06) 4259-2655	FAX (06) 4259-2660
福岡営業所 / 福岡ショールーム	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 福岡MDビル2F	TEL (092) 433-0178	FAX (092) 433-0174
札幌営業所	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号	TEL (011) 898-3636	FAX (011) 897-1467